

# 平成29年度 天城中学校グランドデザイン

## ACTION

### 目指す生徒の姿

- (1) 自ら学ぶ生徒
- (2) 自他を大切にできる生徒（思いを伝える・聴く）
- (3) よりよい集団・社会のために行動できる生徒
- (4) 自尊感情がある生徒

### 生徒の実態

- 素直に行動する。落ち着いた生活をしている。
- 行事や縦割り活動等、協力して取り組む。
- △宿題は行うが、自主学習はあまりできていない。
- 自ら行動に移せない。思いはあっても伝えられない。
- 自己有用感はある程度あるが、自尊感情が低い。

## PLAN

### 校訓 克己

学校教育目標  
夢をもち、共に生きる生徒

### 重点目標

- ・ことばを大切に、自ら考え、表現し、行動しよう。
- ・思いやりと規律のある豊かな人間関係を築こう。
- ・心身ともに健康な生活を確立しよう。

### 学校経営目標

「自信をもって想いを発信できる生徒の育成」

- (1) 学習の充実（課題提示・追究、家庭学習、多読、補充学習、教材選択）
- (2) 体験の充実（ESD、天城学習、地域交流、特別活動、縦割り活動）
- (3) 生活の充実（生徒理解、挨拶、健康管理、清掃、給食、部活動）
- (4) 家庭・地域との連携の充実（情報発信・情報収集・情報共有）

※ESD＝持続発展教育 Education for Sustainable Development

## DO

### 学習指導

- ◎授業規律を徹底し、魅力ある授業で「学びの実感」を積み重ねることを通し、「確かな学力」をつける。
- ◎自己表現として「話す」「書く」場面を意図的に取り入れ、かかわりを通して理解を深める。

- ・教室の整理整頓
- ・「分からない」といえる雰囲気作り
- ・学習課題の明確化
- ・問題成立場面・問題解決場面等でのかかわり合いの設定
- ・家庭学習の充実（学習優先日の設定）

### 研修・総合

- ◎ESDで育む資質・能力を意識した授業、体験活動を行い、評価し、自信をもたせ、将来に夢をもって行動できるようにする。
- ◎生徒指導が機能している授業を目指し、授業改善を推進する。

- ・ESDの6つの構成概念に関連づけた単元構想、7つの重視する能力・態度を目標にした授業
- ・主体的な自己選択の場面がある問題解決的な学習の推進
- ・見取りと支援による価値付け・意味付け

### 生徒指導・道徳

- ◎生徒一人一人が正しく判断し、適切な行動を選択できるようにする。
- ◎思いやりと規律ある生活の中で自尊感情を味わい、好ましい人間関係を形成する。

- ・全教育活動を通して自己決定の場面の設定とその選択・行動について振り返りの機会の設定
- ・リーダー育成のためのプログラム委員会の充実
- ・互いのよさを認め合う活動
- ・教師による生徒の認め
- ・心の時間の設定

### 特別活動

- ◎縦割り活動を充実させ、協力して活動する場面を多く取り入れることで、共感力や協調性を高める。
- ◎話し合い活動を活発化させ、人の話を心で聴き、自分の思い・考えを伝えるようにする。

- ・生徒会執行部、委員会企画による縦割り活動場面の充実
- ・6つの縦割りグループによる清掃、体育の部への取り組み
- ・よりよい集団となるための学級や縦割り活動での話し合い活動の充実

### 開かれた学校…『地域との協働』

- ① 情報発信（たより・HP・学校評価等）による信頼関係づくり
- ② 地域と連携した行事・防災対策の充実（学校・地域行事）
- ③ こども園・小学校・中学校の連携（特に天城小学校との連携）
- ④ 保護者や学校評議員・学校関係者評価委員による評価活動の充実
- ⑤ 地域との文化の交流（地域交流・ESD活動）
- ⑥ P.T.S活動の活性化

## CHECK

学校自己評価  
生徒アンケート  
学校関係者評価  
学力・学習状況調査